

7月14日（日）ほか本町を主会場に開催

ソフトテニスが優勝、男子バスケと相撲が準優勝



▶開会式で選手宣誓を行う嶋村さん

7月14日（日）ほか本町を主会場として開催された第69回上益城郡民体育祭で、本町選手団は総合成績で5位を収めました。

同体育祭は、スポーツの普及を通して、郡民の健康増進とスポーツ精神の高揚を図ることを目的に、上益城郡体育協会（奥名克美会長）、郡内各町、郡内各町教育委員会が主催。

町生涯学習センター・ホールで開催された開会式では、スポーツ功労者および優秀者の表彰が行われ、4個人と2団体表彰されました。

選手宣誓では、嶋村和erson（銃剣道・有安区）が「正々堂々戦うことを誓います」と力強く宣誓しました。

本町選手団（奥名克美団長）は15競技に約200人が参加。多くの選手たちが健闘し、熱戦を制して1競技（ソフトテニス）で優勝を飾り、

2競技（男子バスケトボール、相撲）で準優勝を収めました。

ソフトテニス競技の本町代表チームは、同体育祭での5連覇を達成しました。

なお、総合優勝は8競技を制した益城町でした。

各競技の優勝チーム、また選抜選手は、9月14日（土）・15日（日）に宇城市を主会場に開催される第74回熊本県民体育祭に出場します。



▲ソフトテニス競技で優勝した本町代表チームの選手たち

■田中竜太郎さんにスポーツ功労者表彰

開会式では、上益城郡体育協会のスポーツ功労者表彰式が行われ、本町関係者として田中竜太郎さん（船津区）が表彰されました。

同表彰は、郡のスポーツ振興や競技スポーツなどにおいて、功労があった個人を表彰するもの。

田中さんは上益城郡柔道協会理事などを務め、郡内の柔道競技の振興に尽力。長年にわたる功績が高く評価され、今回の受賞となりました。



▲スポーツ功労者表彰を受けられた田中さん

町内の若者が九州を舞台に活躍

九州大会へ出場して躍動

本町の若い選手たちが、九州各地で開催された大会に出場し、日ごろの練習の成果を発揮して活躍しました。

スポーツ少年・少女とその活躍についてご紹介します。今後、彼らの将来の活躍が期待されます。

第34回九州クラブユース(U・15)サッカー選手権大会

馬場幸英選手 (有安區・甲佐中3年)



6月29日(土)～7月15日(月) 宮崎県綾町の小田爪運動公園陸上競技場をはじめとする九州各県で行われた第34回九州クラブユース(U・15)サッカー選手権大会に、馬場幸英選手がエスペランサ熊本のエースとして出場しました。

同大会は、日本の将来を担うユース年代のサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図るとともに、クラブチーム(U・15)の普及と発展を目的とし、(一社)九州サッカー協会と九州クラブユースサッカー連盟が主催。九州各県から県予選を勝ち上げるなどした48チームが参加し、トーナメント戦を戦いました。

馬場選手は、ミッドフィールダーとして出場し、1ゴールを決めるなど活躍しました。

大会を終えて、馬場選手は「九州大会ということもあり、レベルの高いチームばかりでとても刺激になりました。来年は高校生になりますが、高校でも活躍できるようにさらに努力していきます」と今後のさらなる活躍を誓いました。

第37回九州少年柔道大会

西本月渚選手 (仁田子区・甲佐小5年)



7月6日(土)・7日(日) 福岡県久留米市の久留米アリーナで行われた第37回九州少年柔道大会に、西本月渚選手が出場しました。

同大会は、柔道の普及、発展と相互の親善を深め、次代を担う少年の健全な精神と体力の養成、礼儀正しく、心豊かな他人に対して思いやりのある少年の育成を目的に、九州少年柔道連盟が主催。

西本選手は九州各県から37人が参加した個人戦「5年生女子重量の部」に出場し、初戦を突破するなど健闘しました。

西本選手は「去年の大会の時より緊張は少なく、自分より背が高い相手にも、ちゃんと組手を使えたことは良かったです」と大会を振り返って感想を話しました。

今後の目標については「来年は全国大会へ行けるよう、組手と技の研究をがんばって、技をきれいに出来るようになりたいです」と全国大会出場を見据えて、さらなる技術の向上を誓いました。